

# 令和7年度第2回南房総市地域公共交通活性化協議会

## (兼地域公共交通会議) 議事要旨

日 時：令和8年1月26日（月） 15：25～16：05

場 所：南房総市役所別館1 大会議室

参 加 者：委員18名（別添委員名簿参照、5名欠席）

：南房総市 総務部長・企画財政課長・同課長補佐・同地域振興係長及び係員

議 事：

### 1. 【協議第6号】市営路線バス路線バス（北三原線）について

事務局より市営路線バス北三原線の路線廃止について説明を行う。

北三原線は、令和7年4月から平日5便運行したが、引き続き利用者が少ないとやスクールバスとしても利用が限定的で別途委託料が発生している現状。また、一般利用の代替としては、路線バス「館山鴨川線」や、実証運行中の「チョイソコまるやま」のエリア拡大により対応できることから廃止する。

⇒承認済み

### 【協議第7号】チョイソコまるやまの実証運行拡大について

事務局より実証運行について、これまでの実績報告や実証運行のエリア拡大、実証期間延長案について説明。

現在行っている実証運行は、チョイソコ南房総・館山の予約制乗合送迎サービスの仕組みをすることで費用を抑えながら、路線バスの本数が少なく、タクシー事業者も撤退してしまった南房総市丸山地区において、買い物需要などに対応する移動手段の確保、鉄道駅や地域間幹線系統のバス路線に接続できるよう運行エリアを設定し、当該地域の新たな交通手段の検証を目的として行っている。

最初にこれまでの実績を報告。

チョイソコ南房総・館山の会員登録は、12月末現在で614人、そのうち丸山地区の住所者は、102人。令和7年4月から12月までは、118日間の運行で、484人、1日平均4.1人の利用実績だった。これらの結果では、おどや丸山店やJR南三原駅など、定期利用が増えた様子がみられた。

なお、令和5年12月から目的地乗降場所として、亀田総合病院、鴨川市国保病院、安房地域医療センターの3ヶ所を追加したが、全体の3%程度の利用に留まっている。

続いて、運行エリアの拡大と実証期間延長を説明。

令和5年12月から実証運行を行ってきたが、当初の目標値1日平均3人を超える4.1人の利用がある。先ほどの和田地区の北三原線の廃止に伴い、乗合送迎サービス「チョイソコ」の仕組みを活用し、和田地区と丸山地区、この2つの地区内の移動手段の確保に努めるべく、運行エリアの拡大、および期間を1年間延長するもの。

運行エリア拡大に伴い、従来の内容を一部変更する。運行日は、週3日から週5へ、火曜から土曜までの5日間とし、祝日は引き続き運行とする。運行時間は、午前は9時から12時30分まで、昼休憩を挟んで午後は14時から16時30分までの計6時間の運行とする。運賃は、300円で、区域外の安房地域医療センターは700円。これまで、区域外乗降場所として亀田病院方面へ片道のみ運行していたが、エリア拡大に伴い安房地域医療センターのみ運行する。乗降場所は、添付の参考資料を参照。丸山地区66か所のほか、和田地区に新たに40か所設定する。今までの運用ルールを継続し、外出支援バス券の利用や運転経歴証明書の半額対応、帰りの乗降場所の柔軟な対応を継続するほか、回数乗車

券を設定する。目標値は、1日5人計算で、1年間で1305人とする。

今後の利用状況、動向を分析するとともに、実証運行を継続していきたいので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願ひしたい。

なお、本日の協議終了後は、運輸支局への届け出、広報活動を行っていく。

質疑等)

◎タクシー回数乗車券とは。

⇒チョイソコわだまるやま、きょうほタクシー、南房タクシーで共通して利用できる回数券。今のところ300円×10枚ものを販売予定。

⇒承認済み

## 2. 【協議第8号】自家用有償旅客運送登録（南房総市社会福祉協議会）について

当課事務局及び社会福祉協議会職員より南房総市社会福祉協議会が事業者登録している交通空白地有償運送について、運行範囲の拡大及び更新登録について説明を行う。

南房総市における交通空白地有償運送の必要性について、資料8-1に基づいて、南房総市における特性や移動制約者の現状、輸送の状況、市の外出支援事業などを説明。続いて、過去3カ年の実施状況を報告。また、更新に合わせて運行範囲の拡大として、従来の区域の他に、次の3施設を利用できるよう追加提案を行う。

①木更津年金事務所、②君津中央病院、③南洲会勝浦クリニックの3施設

このほか、運行距離が延びることから上記に行く際は、加算料金を新たに設定。

次に、3年間の登録期間満了となることから引き続き、登録更新を行うことを説明。

⇒承認済み

## 3. 【報告第2号】南房総・館山地域公共交通計画について

第2期となる南房総・館山地域公共交通計画は、令和7年度中の策定を目指し、令和6年度は、市民アンケートを基に利用者の状況や、意向、将来の方向性に関して意見聴取を実施。令和7年度は、事業者を対象としたアンケートのほか、各市において地元懇談会を実施。アンケート結果等から課題の抽出を行い、令和7年度の第2回南房総・館山地域公共交通活性化協議会にて本計画の基本理念や方針について諮り、いただいた意見を踏まえ、計画目標や評価指標を設定した計画素案をこのほどまとめた。また、当日配布した資料編には、そのアンケート調査の集計や公共交通の現況などが集計してあるため、参考としたい。

続いて計画概要を説明。

・基本理念は、「地域住民の外出行動を促進し、地区ごとの特性に応じた活性化を図る公共交通ネットワークの実現」とし、基本方針及び目標では、記載のそれぞれ5つを設定。評価指標は、公共交通利用者数やバス路線補助の財政負担率などを設定し、10事業18項目の事業計画とした。

今後は、両市のホームページ上でパブリックコメント募集を行い、3月中に合同協で書面開催を行い、年度末の策定に繋げる。なお、南房総市地域公共交通計画および館山市の地域公共交通計画も計画期間が今年度末で終了となるが、今後は、本計画に1本化する予定。

⇒承認済み

## 3. 【報告第3号】南房総・館山地域公共交通活性化協議会について

事務局より、南房総・館山地域公共交通活性化協議会についての報告。

1つ目、チョイソコ南房総・館山の今年度の実績についての報告。

令和5年10月より本格運行を開始して2年が経過したが、12月末現在の登録者数は、614人となっ

た。年齢別には、60歳以上が68%となっており、高齢者の移動手段として登録いただいている。

次に利用実績は、令和7年4月から12月までの9ヶ月間で1,514人、平均は、8.21人とこれまでの実績と比較しますと、増加傾向となっていますが、当初の目標人数7名を超える形で今年度は推移している。利用時間帯や曜日別、予約の状況は資料のとおり。

次に乗降場所別利用者数では、イオンタウン館山や館山駅などの目的乗降場所が多く利用された。また、定額乗車券も利用あり、個別の乗降場所は、毎週ご利用の定期的なお客様がいる結果となった。

一方で、会員登録はするものの利用したことがない方も多くいる現状のため、引き続き、周知活動を継続していく。

2つ目は、「南房総・館山地域公共ライドシェアの実証運行についての報告。

公共ライドシェアは、自治体などが実施主体となり、自家用有償旅客運送登録にて、個人の自家用車を活用して、公共交通の空白時間帯などを補完する形態をとり、このほど実証運行に取り組んでいくもの。

現在の南房総・館山地域公共ライドシェアは、南房総・館山地域公共交通活性化協議会が主体となり、地元タクシー事業者の鏡浦自動車様と運行管理を専門に取り扱っている日野自動車様の協力で、実証運行を行っている。主な概要としては、運行エリアは、南房総市及び館山市を発着のいずれかを必須とし、鴨川市、鋸南町を含む安房地域がエリアとなる。運行時間帯は、夜の21時から25時までとし、専用アプリを用いて運行中。令和7年3月からの実績では、273日の運行で319回の依頼、126回の運行完了となっている。今後は、目標値を定め、夜間タクシーの確保や、日中帯運行への横展開など、引き続き検討していく。

⇒承認済み

### 3. その他

日東交通㈱より、令和8年4月1日より一般路線バスの運賃改定を予定している報告があった。

このほか、事務局より、報酬のお知らせと次回は令和8年度に入ってからの開催予定について事務連絡があった。

16:05 終了

## 南房総市地域交通活性化協議会（兼地域交通交通会議）委員名簿

	氏名	出欠	代理出席	随行	役職名
1	しまだ まもる 嶋田 守	○			南房総市副市長
2	フクナミ シンイチ 福浪 新一	×			関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官
3	スガイ タダシ 菅井 規	○			関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官
4	イトウ マサオ 伊藤 昌央	○			千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長
5	キシタ ヒロミチ 木下 博道	×			千葉県土整備部道路計画課 副課長
6	スズキ キヨカズ 鈴木 清和	×			安房土木事務所 次長(兼)管理課長
7	シマダ トシユキ 嶋田 敏行	○			安房土木事務所 調整課長
8	サカイ ヨウイチ 坂井 陽一	○			館山警察署 交通課長
9	なりた ひとし 成田 斎	×			一般社団法人千葉県バス協会 専務理事
10	たかはし はるき 高橋 晴樹	○			日東交通株式会社 運輸部長
11	なかがわ ゆきお 中川 行雄	○			ジェイアールバス関東株式会社 館山支店長
12	しろた のりとき 代田 憲隆	○		1名	千葉県タクシー協会理事(白浜タクシー代表)
13	ほんま ゆうじ 本間 裕二	○	川名隆文		南房タクシー株式会社 代表取締役
14	たがみ しげみつ 田上 重光	○		2名	東日本旅客鉄道株式会社 館山駅長
15	すずき けんじ 鈴木 賢二	○			安房道の駅連絡会会长
16	おざわ としお 小澤 利男	○			日東交通労働組合 安房支部代表
17	オキムラ ナオミ 沖村 尚美	○			富浦地区住民・利用者代表
18	カワナ アツヨ 川名 淳代	○			富山地区住民・利用者代表
19	アオキ フミオ 青木 文男	○			三芳地区住民・利用者代表
20	ヨシダ ユキオ 吉田 幸夫	○			千倉地区住民・利用者代表
21	もとはし せいいち 本橋 清一	○			白浜地区住民・利用者代表
22	よしの しげる 吉野 茂	×			丸山地区住民・利用者代表
23					和田地区住民・利用者代表
24	シブタニ ユタカ 渋谷 裕	○	宇都木信		館山市総合政策部企画課長